

学  
力  
向  
上

## 子どもが伸びる授業づくりプロジェクト

分かる！楽しい！  
国語の授業をめざして

鳥取県教育委員会では、本年度から県内3校を重点校として指定し、新事業「子どもが伸びる授業づくりプロジェクト」を実施しており、東部地区では鳥取市立日進小学校が取り組んでいます。今号では、鳥取市立日進小学校が「子どもたちが『国語が好き！』と感じて生き生きと学習に取り組み、『授業がよく分かる』と感じられる授業をつくりたい。」との思いで実践している「Learning・Mountain」を使った単元づくりについてご紹介します。

### ① 分かること、できること

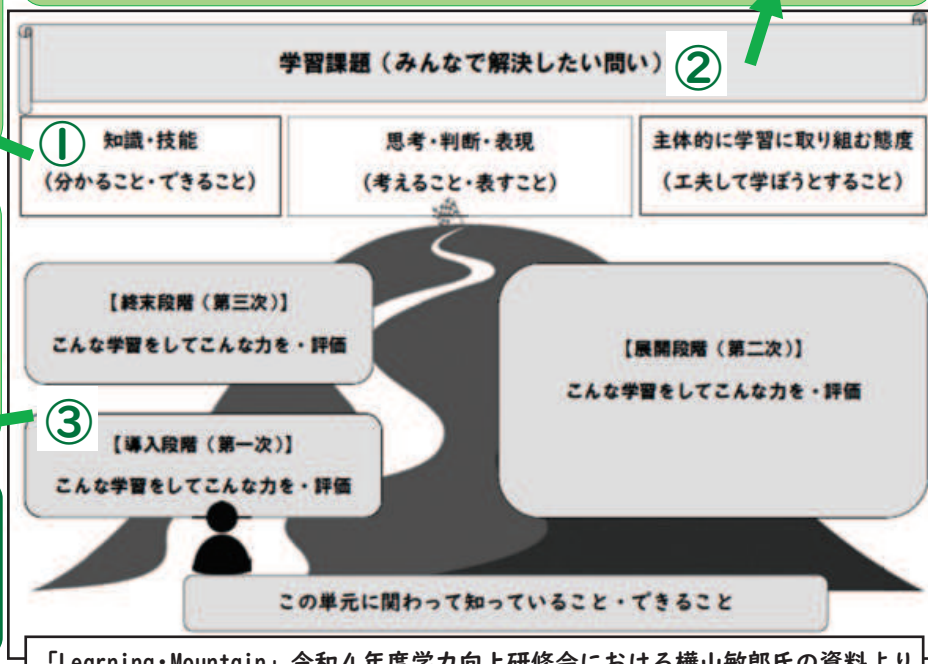
「何が分かり、何ができればいいか＝この単元で付けるべき資質・能力」を明確にし、子どもたちが「分かった」「できた」をはっきり感じられるようにします。

### ② 学習課題（みんなで解決したい問い）

子どもたちにとって必要感があり、「解決したい、取り組みたい」と思える学習課題を設定します。魅力的な学習課題が子どもたちの主体的に学ぶ意欲を引き出します。

### ③こんな学習をしてこんな力を・評価

単元の中でいつどのような学習をして、どのような力を何で評価するのか（＝表現するか）を明確にし、子どもたちに見通しを持たせます。

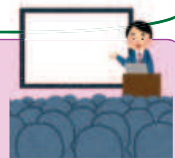


「Learning・Mountain」は壁面に掲示し、毎時間確認することで、子どもたちが山のどこを上っているかをいつでも意識できるように工夫しています。

「Learning・Mountain」令和4年度学力向上研修会における樺山敏郎氏の資料より

他にも、図書等の複数の資料や情報を活用する工夫、条件に沿って書く力を付ける工夫、ICTの効果的な活用等の、子どもたちに力をつけるたくさんの工夫をしています。

下記の研修会では、「Learning・Mountain」をご指導くださった樺山敏郎氏（大妻女子大学教授）をお招きしますので、ぜひご参加ください。



国語科の授業づくりでは、まず教師が単元に身に付けさせるべき力を明確にした上で、子どもが身に付けた能力を活用したくなるような魅力的な学習課題を設定します。

学習課題や身に付けるべき力は、子どもたちに常に意識させましょう。子どもたちは、どの活動で何ができるようになっていけばいいのか、見通しをもって主体的に学びを進めることができます。

### 【子どもが伸びる授業づくりプロジェクト】 公開授業及び研修会（東部地区）

日 時	令和5年11月6日(月)	
	13時25分～16時35分	
会 場	鳥取市立日進小学校	
公開授業	第6学年 国語	
	「表現の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう」(教材「鳥獣戯画を読む」他)	
指導助言	大妻女子大学 教授 樺山 敏郎 氏	